

2025年日本国際博覧会 休憩所3



外観

「休憩所3」は、「静けさの森」に続く樹木群とユニークな人工物が寄り集まる休憩所。頭上に広がる樹冠や立ち並ぶ幹に、建築物の柱や壁、屋根が寄り添い、心地よい半屋外空間が連続する。



案内図・誘導表示



案内図は、視覚障がい者に配慮し触知図を採用。ピクトグラムや文字を活用し、各エリアをわかりやすく確認できるよう工夫している。さらに、地面にも色付きのラインや文字を用いて行先へと誘導している。



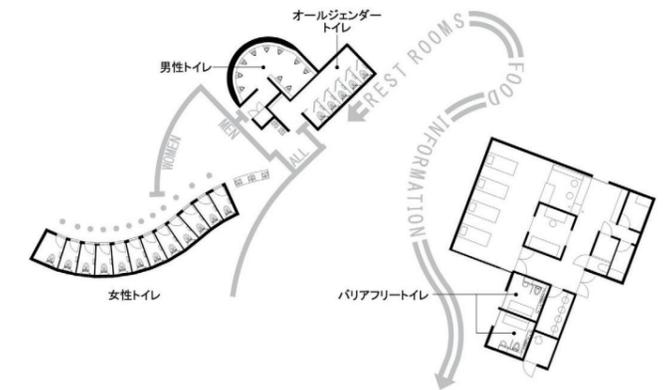
男性トイレ



入口の足元地面に「MEN」と表記し、小便器のみを設置した男性トイレ。吹き抜け構造となっており、開放感あふれる快適な環境を実現。さらに、使用者の視線が交わらない、円形レイアウトが特徴的な設計である。

トイレ図面

「静けさの森」の樹木に囲まれた休憩所3の一部に、男性トイレ、オールジェンダートイレ、女性トイレ、そしてバリアフリートイレが設置されている。



オールジェンダートイレ



足元地面に「ALL」と記された、性別を問わず利用できるオールジェンダートイレ。入口戸外に、トイレ内に入らずとも手洗いができる洗面コーナーを設置。入口付近には身繕いの専用スペースを設け、利便性を高めている。



オールジェンダートイレ



お子様連れにも配慮したオールジェンダートイレの大便器には、コンパクトなデザインで、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用している。



女性トイレ



足元地面に「WOMEN」と記された女性トイレ。各大便器ブースの扉にピクトグラムが大きく描かれ、女性専用であることがわかるよう配慮。外部に面した空間は、緩やかなアーチを描き、空間に変化を生み出している。

水まわりの特長

建物の特徴

5年に一度世界1ヶ所のみで実施される国際的イベント「国際博覧会」が大阪市内の夢洲(ゆめしま)で開催。会場内の休憩所やトイレなど計20施設を、公募型プロポーザルにて若手建築家が設計。「休憩所3」は、アートプロジェクトが開催される「静けさの森」に続く樹木群と小さくもユニークな人工物が寄り集まる、自然と人工が融合した休憩所。頭上には、広がる樹冠や立ち並ぶ幹があり、それらに建築物の柱や壁、屋根が寄り添うことで、心地よい半屋外空間が連続している。それぞれの植物や建物もつ色彩と形の連なりが全体に編み込まれていくことで、独自のテキスタイルを伴った生態系が立ち上がっていき、この場が新たな世界の捉え方へと繋がっていくことを目指している。

トイレの特長

「休憩所3」のトイレは、3棟から構成されており、男性トイレとオールジェンダートイレの建屋、女性トイレの建屋、そして、応急手当所を備えた建屋にはバリアフリートイレとカムダウンスペースが屋外に面して設置されている。男性トイレは小便器のみを設置し、自然な視線配慮がなされた円形レイアウトで、壁掛型の自動洗浄小便器を採用。女性トイレとオールジェンダートイレの大便器には、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式と、ノズルを清潔に保つ「きれい除菌水」機能を搭載したウォシュレットアプリコットPを採用している。また、バリアフリートイレは、左右勝手違いで設置されており、さまざまな身体状況に対応可能なコンパクトバリアフリートイレパックを設置している。

建築概要

名称	2025年日本国際博覧会 休憩所3
所在地	大阪府大阪市此花区夢洲中1-1-20(2025年日本国際博覧会会場内)
施主	公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
設計	山田紗子/一級建築士事務所合同会社 山田紗子建築設計事務所

竣工年月	2025年2月
延床面積	568.23㎡
構造・階数	木造、鉄骨造・地上2階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモン):TCF5831AUP
スベア付紙巻器-YH191L/自動洗浄小便器-UFS900WR
コンパクトバリアフリートイレパック:UADAK21R1A1ADD2BA
収納式多目的シート-EWC520AR系



女性トイレ



内部壁面は、鮮やかなオレンジ。空室時にはその色が、外部からライン状に見える仕様となっており、空き状況を直感的に確認できる。大便器ブースの壁は天井まで完全に覆われており、プライバシーが確保されている。



バリアフリートイレ入口



バリアフリートイレは左右に並んで2ヶ所設置され、それぞれ左右勝手違いの仕様となっている。扉には、ピクトグラムが目立つように掲示されており、離れた位置からでも、容易に認識できるデザインが施されている。



バリアフリートイレ



バリアフリートイレは、車いす使用者やオストメイト、大型ベッドを必要とする方々に対応。利便性と快適さを兼ね備え、幅広い利用者のニーズに応えられるよう設計されている。